愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設·事業所情報

名称:しんぽ保育園 種別:保育所

代表者氏名:桂 華 恭 子 定員(利用人数):48 名

所在地: 名古屋市千種区振甫町3丁目34番地

TEL: 052-719-0177

ホームページ: http://www.katsurafukushi.jp/piccoro/shisetsu_shinpo.html

【施設・事業所の概要】

開設年月日 平成28年4月1日

経営法人・設置主体(法人名等): 社会福祉法人 桂福祉会

MEAN RETH (ANTI-) LAREAN TERES				
職員数	常勤職員:	17 名	非常勤職員 3名	
専門職員	(専門職の名称)	名		
	園長	1 名		
	主任保育士	1 名		
	保育士	12名	2 名	
	医師(嘱託医)		1 名	
	看護師	1 名		
	栄養士	2 名		
施設・設備の概要	(居室数)		(設備等)	
	保育室 5室		多目的室 調乳室 沐浴室 調理室 医務室 事務室 相談室 トイレ 倉庫 テラス	

③理念·基本方針

保育理念

- ・常に子ども達にとってのよりよい環境づくりをめざし、子ども達一人ひとりの大切な命を守ります。
- ・養護と教育の一体となった保育を進め、豊かな人間性をもった子どもを育成します。

保育方針

- ・温かな家庭的なぬくもりのある保育を大切にします。
- ・一人ひとりの子どもの状況や発達について理解し、発達に応じた保育をすすめます。
- ・家庭や地域との連携を図り、就労と育児の両立、地域の子育て支援等を積極的に行います。

4 施設・事業所の特徴的な取組

- ・常勤看護師による日常的な健康管理が行き届いている。衛生管理委員会を設置して、看護師を中心として感染症の予防や対策について検討、見直しを行っている。感染症が流行する時期には、対策や対処方法について職員会議で確認、話し合いを行っている。
- ・業務のICT化(情報通信技術)を推進し、業務の共有化や効率化に努めるとともに経費節約等、コスト管理に向けた取り組みを行っている。職場の5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)を徹底し、収納設備や収納手法を標準化し、業務の効率化だけでなく、効率的な空間活用ができている。また、収納システムに優れている。
- ・保育の基本を標準化したマニュアルがあり、写真を使用して分かりやすく示している。園内研修時に、保育の方法、保育士の関わり、配慮等について話し合いの場を設け、園長・主任から保育士に指導を行っている。保育の基本をマニュアルに明記し、一定の水準を保った上で、個々の子どもの個別性に着目した対応ができるよう、職員会議や研修会において理解を深めている。
- ・職員の年次有給休暇100%取得に取り組み、事務作業時間を勤務時間内に確保し、各種休暇制度を充実させ、ワーク・ライフ・バランスに配慮した就業環境づくりに取り組んでいる。また、安定した園運営のため、様々なチャネルを通じた求人活動を行い、定数以上の職員配置に努めている。また、健康診断やインフルエンザ予防接種の全額負担を実施し、早期発見・早期治療に効果を上げている。職員の福利厚生については、二つの共済会に加入し、親睦会への補助等、福利厚生の充実に取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年 9月 6日(契約日) ~ 平成30年 3月31日(評価決定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (初回)

◇特に評価の高い点

<子どもの人権を尊重する保育に重点を置いた保育の実践に努めている。>

事業計画の中で、「一人ひとりの子どもたちの人格を尊重しながら、発達を踏まえ、心穏やかに愛情を持って接する。」との基本方針が明記されており、子どもの人権を尊重する保育に重点を置いた保育の実践に努めている。勤務マニュアルに子どもの人権を守るための留意事項を明記し、読み合わせ、確認等を行って、職員会議や勉強会で全職員の意識向上に取り組んでいる。勤務マニュアルは職員の行動規範となっており、保育実践は、毎月の職員による各種の委員会活動や各部会活動の中で見直しされ、課題改善されていくというPDCAサイクルができている。また、子どもの人権を尊重する保育の共通理解のために、合同研修会でエピソード研修を実施している。

<自然に恵まれ、生活環境にも恵まれている。>

民営化にあたって、大幅な改築により、未満児にふさわしい環境づくりがなされた。保育室やトイレは清潔で快適、安心できる環境となっている。また保育室から戸外のテラスの出る時はバリアフリーになっており、子どもたちがハイハイしたり、ヨチヨチしながら自由に出入りできる。広いテラスは雨の日でものびのびと遊べるよう電動のテントがあり、夏は日よけやプール遊びの場となる。

また、園庭には、大きな欅が二本あり、夏には涼しい木陰を作り、芝生のため、素足で思いきり、遊ぶことができる。近隣には公園がいくつもあり、子どもたちの散歩の場所となっている。

<保育計画が詳細に立てられ、保育実践が行なわれている。>

保育計画は年齢ごとに養護・教育面をしっかり捉えた柔軟性のある計画が立てられている。保育方針や 目標に沿って、きめ細やかな保育が行われ、一人ひとりの個性を尊重した支援に努めている。

<職員の資質向上のため職員教育に取り組んでいる。>

目標管理の中で意向を把握し、研修年間計画が策定され、その中で、職種別研修、テーマ別研修、経験年数に応じた研修等、様々な外部研修への参加や、各種の園内研修、公開保育等が実施されている。 法人全体研修として、毎年、保育園6園で開催する大規模な合同研修会は、全職員が参加できるように日曜に開催し、外部講師からの講義と園の実践報告やグループ演習を行うもので、全園の職員が一堂に会し、顔の見える情報交流ができる機会にもなっている。参加した研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員に周知を行い、次の研修へ反映させている。

◇改善を求められる点

<園の機能の地域への還元に向けた取り組みに期待したい。>

関係機関との連携や、子育て広場や子育てサロンで専門的な知識・技術や情報を地域に提供している。また、子育て相談を実施して、電話や状況に応じて面談をできるようにして、地域の具体的な子育てニーズの把握に努めている。子育て支援の情報提供はできているが、園内で地域向け研修会や講演会を開催して、地域へ参加を呼びかけるまでには至っていない。開設2年目の園であり、今後、地域のニーズに応じて、どのように園の機能を地域に還元していくかが課題となる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

民間移管されて 2 年目に第三者評価を受審することになり、職員全員が多くのことを学ぶことができました。移管後 1 年が経過していろいろな見直しをする中で、新しい課題も出てきました。その一つ一つを丁寧に捉えて、振り返り改善していきました。評価結果での指摘事項は、今後のより良い保育を実践する上での具体的な示唆となり、改善点を来年度や中期・長期的な事業計画の中に生かしていきたいと思います。

保護者アンケートの結果を受け止め、今後も多様化する子育てニーズに対応した保育サービスの提供に努めていきたいと考えています。子ども達の笑顔であふれる保育園、保護者の皆様に安心していただける保育園づくりに努めてまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。